

川崎・富川（プチョン）友好都市締結10周年記念
9.9 富川フィルハーモニックオーケストラ川崎公演歓迎

羅 鍾一（ラ・ジョンイル）駐日韓国大使 講演会

略歴；ケンブリッジ大学で博士号取得、慶熙大学教授、駐英大使、大統領秘書室国家安全保障補佐官等を歴任、2004年3月から現職

（仮題）『北東アジアの平和のために - 多文化共生社会へ向かう韓国社会』

主催；川崎・富川（プチョン）市民交流会

期 日；6月15日18時開会

会 場；いさご会館 裏面に地図（川崎区宮本町3-3、044-211-0020）

参加費；講演会資料代 500円（懇親会費予定3,500円、学割あり）

5月31日、韓国では統一地方選挙が実施され、北東アジアで初めて永住資格を有する外国籍住民が一票を投じる画期的な日を迎えます。韓国政府は2004年に住民投票法を制定して全国の自治体で住民投票権を、そして05年公職選挙法改正では永住資格を取得して3年以上滞在する外国人に地方参政権を保障しました。このほか最近では在韓華僑の経済活動制限が撤廃(外国人土地法改正)され、教科書に【多民族・多文化共生】をめざすことが盛り込まれ、さらに韓国人と国際結婚した外国人配偶者への差別是正策が進められています。北東アジアの平和構築には、六カ国会議の進展を待つだけでなく、各国においてそれぞれ、多文化・多民族共生社会を作り上げることが必要です。

日本では95年に最高裁判決が「外国人の永住者等に地方選挙権を付与することは憲法上禁止されていない」と判示し、自民党と公明党の連立政権合意事項の一つにもなっていますが、未だ実現していません。

9月の富川フィル川崎公演の成功を願って、私たちは、羅鍾一駐日韓国大使をお迎えして、多文化共生社会へと向かう韓国社会の近況をお聞きする機会を企画しました。変わる韓国、変わらぬ日本 を対比させながら、日本社会の現実も厳しく見つめたいものです。是非多くの方々のご参加を呼びかけます。

懇親会に参加される方は、料理の注文のため事前に申込みください。

〔Email〕 annyongyamada@abeam.ocn.ne.jp

〔FAX〕 地方自治研究センター 044-244-7610

駐車場は広くありませんので、自動車での来場はご遠慮ください。